

「ろうあの天才写真家」の生涯

野口 一雄

井上孝治(いのうえこうじ)氏 1919年～1993年

福岡県福岡市生まれ。福岡県立聾学校中学部卒業

3才の時に階段から落ちて聴覚を失った。その後、戦前より写真を撮り始め、各類型フォトコンテストに入選、戦後、米軍基地などに勤務し、1995年、福岡県春日市で妻のミツエさんと井上カメラ店を経営する一方で福岡の街や返還前の沖縄にも出掛け、そこに生きる人々を撮り続けた。

1957年から、聴覚障害者の写真クラブを主宰。

1959年 福岡県ろうあ福祉協会会長に就任。

1972年 全日本ろうあ写真連盟を創設、初代会長に就任。

1989年 岩田屋のキャンペーンに写真が採用され、同年福岡市で写真展を開催。

1990年 パリ写真用間に出品。

1993年 アルル国際写真フェスティバルに招待されたが、その直前に74才で肺ガンで死亡。同地で遺作展が開催され、アルル名誉市民賞を受賞。

写真集に「思い出の街」「あの頃」「こどものいた街」など出版され、故井上孝治氏の一番弟子と呼ばれていた私は、現在、福岡で聴覚障害者中心の写真クラブ「写団 FD」を主宰しています。

故井上先生とは、日本各地、色々な所に撮影に出かけて行きました。

先生は、旅行もお酒も大好きで、一緒に居て、本当に楽しい方でした。今でも、懐かしく思い出されます。

福岡聾学校が来年1月で創立100周年を迎えるのを記念して、同校卒業生でろうあ写真家、故井上孝治さんの写真展が今年10月3日～8日、福岡市美術館で開かれた。



昭和 56 年 8 月 西日本ろうあ写友会
例会 (井上宅)



昭和 63 年 5 月 鷺羽山にて



井上孝治写真館 展示数 30 点

必ず予約してお出かけください。

〒819-1303 福岡県糸島市志摩町野北 1497-73

スコーレヒル内

連絡先 ブルックスタジオ FAX092-521-3587